

日本沿岸域学会 研究グループ 研究計画提案書

平成25年11月 8日

① 研究テーマ	災害廃棄物等の海域処分に関する研究						
② 目的	<p>東日本大震災で発生した災害廃棄物や津波堆積物は、主に沿岸域に集積されて中間処理が進められている。現地では、再資源化や減容化が進む一方で、選別不燃物・余剰汚泥・焼却残さ等の処分場不足が顕在化しつつある。また、相当量の放射性的廃棄物等の発生が見込まれる福島県では、今後の処理推進を図るうえで処分場の確保は重要な課題となっている。</p> <p>一方、南海トラフ巨大地震や首都直下地震への備えを強化することが社会の関心事になっている。それらの地震では強い地震動や大きな津波によって膨大な量の災害廃棄物が発生することが予測されているため、それらを効果的かつ効率的に処分する方法を見出していくこともまた重要な課題になっている。</p> <p>そうした状況を踏まえ、本研究では、災害廃棄物等を海域で処分する技術の検討を行う。災害廃棄物等の種類・発生量、海域条件等を適宜設定し、処分の安全性と経済性を確保できる処分施設の構造と運用方法を検討する。</p>						
③ 活動内容	<p>(1) 災害廃棄物の海面処分の考え方 災害廃棄物等の発生状況を調べ、海面処分による対応の考え方を整理する。</p> <p>(2) 海面処分場の地震・津波に対する安全性の検討 地震や津波に対して安全な海面処分場の構造を検討する。</p> <p>(3) 海面処分場の維持管理方法の検討 長期にわたり持続可能な海面処分場の維持管理手法を検討する。</p> <p>(4) 海面処分の費用低減技術の検討 経済的な海面処分を可能にする海面処分場の建設技術を検討する。</p>						
④ グループの構成	氏名	会・非	専門分野	所属・役職	住所	電話番号	FAX番号
世話人	鈴木 武	正	港湾計画	国土技術政策総合研究所 沿岸海洋・防災研究部長			
グループ構成員	関本 恒浩	正	海岸港湾工学	五洋建設技術研究所 所長			
	江口 信也	賛助	廃棄物・リサイクル	五洋建設技術研究所 技術企画グループ			
	西川 正夫	賛助	港湾設計	東亜建設工業エンジニアリング事業部			
	田谷 全康	賛助	港湾設計	東亜建設工業エンジニアリング事業部 事業部長			
	藤原 隆一	賛助	海岸・港湾工学	東洋建設総合技術研究所 所長			
	山崎智弘	賛助	港湾設計	東洋建設土木事業本部土木技術部 課長			
	木俣 陽一	賛助	港湾設計	若築建設技術設計部 次長兼技術課長			
⑤ 日程表	研究期間	平成 25年 11月～平成 26年 12月			開催頻度	1回/月程度	
	開催場所	日本沿岸域学会事務局(みなと総研)の会議室にて開催予定			⑥ 研究運営費	助成額: 0 万円	